

# 岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 95  
2024.3

TOPICS

1

## 令和5年度岡山大学学位記等授与式を挙行



3月25日、令和5年度学位記等授与式を岡山県総合グラウンド体育館（ジップアリーナ岡山）で行い、学部生・大学院生ら計3,141人の門出を祝福しました。

式では国歌・学歌斉唱に続き、那須保友学長が学部・研究科などの総代23人に学位記・修了証書を授与。引き続き、学業成績と人物がともに優れた学生に授与する「岡山大学黒正賞」の受賞者17人を表彰し、代表者に賞状と記念品を贈りました。

那須学長は式辞で、「私たち全教職員は、皆さんが、母校岡山大学で学んだ伝統と精神、そして誇り（岡大愛）を胸に、それぞれの新しい職場などで、自信を持ってのびのびと活躍してくださることを心から祈っています」とはなむけの言葉を贈りました。

卒業生を代表し理学部の中西萌々花さん、修了生を代表し大学院医歯薬学総合研究科の松岡大貴さんが答辞を述べました。

会場の外では、卒業生が家族や友人と記念撮影をするなど別れを惜しんでいました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id12946.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12946.html)



TOPICS

2

## 「岡山大学×READYFOR」クラウドファンディングプロジェクト公開 ～『入院中でも勉強がしたい』病とたたかう子どもの想いに応える環境整備を～

岡山大学病院小児科は3月13日、クラウドファンディングプロジェクト「『入院中でも勉強がしたい』病とたたかう子どもの想いに応える環境整備を」の公開をREADYFOR株式会社のプロジェクトページで行い、寄付金の募集を開始しました。

岡山大学病院小児医療センターには、難治性の病気のために長期間入院を余儀なくされる子どもがたくさんいます。入院して病氣とたたかっている間も子どもたちが学習を継続できるよう、リモートでの教育支援の実現を目指して本プロジェクトを立ち上げました。

プロジェクトの成立に向けて、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします！

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id12910.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12910.html)



Pick up!

## 岡大メディアOTDが2024年4月より新たなスタート！ ～大学公認から学生主体のメディアへ～



情報発信メディア『岡大メディア(OTD)』は2024年4月より、大学公認メディアから本学学生が主体となって運営するメディアに移行します。

『岡大メディア(OTD)』は「岡山大学の価値ある情報を届け、可能性を最大化する」というビジョンの下、2021年3月に運用を開始。大学公認メディアとして、本学の学生や入学希望者に向け、ニュース、部活&サークル情報、ゼミ&研究室情報、大学街の飲食店情報等の“旬な情報”を発信してきました。

2024年4月からは、本学経済学部卒業生である脇田康之亮さんが代表取締役を務める「株式会社TsudoiBa」と学生有志で構成する「岡山大学起業部」が共同で運営するメディアへと変わります。移行を受けて脇田さんは「見てくれた岡大生の大学生活が、少しでも楽しいもの・有意義なものになるようなメディアとして、今後も発信を続けていきます！」とコメントしています。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id12913.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12913.html)



TOPICS

3

## 「令和5年度学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」で 本学学生団体が準グランプリを獲得

2月17日、岡山市が主催する「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト（令和5年度）」の活動成果報告会が行われ、本学の学生らで構成する「えんぱわ！オカヤマ」が準グランプリを受賞しました。

えんぱわ！オカヤマは、本郷堅大さん（文学部2年）、坂東優毅さん（法学部2年）、庄野仁悠さん（法学部2年）の学生3人で構成されたチームで、岡山市観光の活性化に向け、旅行者が岡山の情報発信源となり、誰もが岡山の魅力を再発見できるサイト作りに取り組んでいます。

本郷さんと坂東さんは「私たちの描くビジョンやアイデアを評価していただいたのはたいへん光栄です。今は提案の段階なので、賛同してくださる団体・企業などがあれば、実際に画像の募集などを行い、事業化を目指したいと思います」とコメントしました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id12894.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12894.html)



TOPICS

4

## お茶の水女子大学SDGs推進研究所学生委員会メンバーが来学 ～異なる環境の学生同士の交流から生まれる新しいSDGsの芽～

2月22、23日、お茶の水女子大学SDGs推進研究所学生委員会の中村聡美さん（文教育学部）と土井泉璃さん（理学部）が来学し、本学学生らとの交流しました。

はじめに岡山大学データサイエンス部を訪問。同部の磯野楓也さん（農学部）から設立のきっかけやSDGsに関する活動等を説明。意見交換では、お茶の水女子大学との連携の模索など、学生の視点を踏まえた、スピード感があり、かつ次につながる深い意見が交わされました。

次に、岡山大学SDGsアンバサダーでもある岡山大学TFTを訪問。活動メンバーの澁谷香澄さん（法学部）が取り組みや運営等について紹介しました。また、岡山大学TFTが作成したSDGs理解推進のためのかるた「おかやまSDGsかるた」を中村さん、土井さんにプレゼントしました。

続いて、岡山大学SDGs推進企画会議議長の狩野光伸副理事・教授を表敬訪問。これまでの本学におけるSDGsの取り組みや今後の取り組みのあり方など、過去・現在・未来に渡るSDGsの存在そのものについて、深い議論を行いました。

最後に那須保友学長を表敬訪問。来学されたお二人にSDGsの取り組みの失敗を含めて、若いうちの失敗が取り返しのつかないものではなく、次への糧であることなどを伝えました。中村さんと土井さんからも取り組み紹介とともに、今回の学生同士の交流がとても有意義であり、次に生かすことの多い機会であったことなどが述べられました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id12908.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12908.html)

PRESS  
RELEASE

## 齢によって変わる「オス同士の闘争パターン」を世界で 初めて発見～歳をとると長く戦い続けてしまう甲虫のナゾ～

岡山大学大学院環境生命科学研究科修了の西谷俊輝氏、岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域（農）の宮竹貴久教授、松村健太郎研究助教は、エクセター大学バイオサイエンス学部（英国）のデイビッド・ホスケン教授らの研究グループとの長年の共同研究によって、甲虫の一種「オオツノコクヌストモドキ」のオスが羽化後の日齢によって、対戦相手のオスと戦う戦術を変えており、戦い方も若いオスと加齢したオスでは、行動様式が変化することを明らかにしました。

日齢の経過によって、将来、繁殖に投資できる資源量が増えるため、若いオスと加齢したオスではメスをめぐる戦いに対する執着度が異なるためだと考えられます。オス同士の闘争パターンがオスの齢によって変化することは世界初の発見です。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id1197.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1197.html)

